

学校法人東京聖栄大学 平成 30 年度事業計画

学校法人東京聖栄大学は、昨年度学園創立 70 周年を迎え、歴史と伝統を踏まえつつ、学園内外からの信頼に一層応えるべく、教職員が一丸となって努力することを改めて確認しました。

平成 30 年度は、18 歳人口が逡減して行くとの、所謂「2018 年問題」の年度を迎えますが、学生・生徒・園児を大切にした教育を一層重視し、特に以下の事項を重点として事業を推進し、社会の期待に応えてまいります。

<各重点項目>

1 東京聖栄大学

- ・自己点検活動による不断の見直しと向上（PDCA サイクル）
- ・組織的な FD 活動による授業の改善工夫
- ・カリキュラムの見直し（両学科）
- ・教員年齢構成のバランスに向けた継続努力
- ・就職活動へのきめ細かな指導・支援、各種資格取得支援
- ・管理栄養士国家試験指導（高い合格率の維持）
- ・定員確保努力の継続的推進、適正な入試の実施
- ・学長リーダーシップに基づく大学運営と補佐体制（大学運営会議）
- ・「大学機関別認証評価」受審への適切な対応

2 附属学校

1) 調理師専門学校

- ・学生生徒募集対策（幅広い入学生の募集努力を行う。）
- ・魅力ある調理師の養成
- ・施設の適切な維持管理
- ・自己評価への取り組み
- ・東京聖栄大学との連携（「(仮称) 基礎調理実習講習会」の開催検討等）

2) わたなべ幼稚園

- ・わたなべ幼稚園 教育方針の確立
（開園 40 年の歴史を踏まえ、温かく家庭的な教育を行うことに対する、保護者・社会からの信頼を維持し高める努力を継続する。また、新しい取り組みも検討する。）
- ・保護者の就労ニーズを踏まえた「預かり保育」
（前年度までに取り組んだ、19 時までの時間延長、夏休み・冬休み等休業中の

預かり保育と給食の実施に加え、新たに、行事代休日における預かり保育の実施を検討する。)

- ・ ホームページを活用した園情報、わたなべ幼稚園の魅力の継続的発信
- ・ 集団給食施設を生かした安全でおいしい手作り給食の良さのアピール
- ・ 「食育」の推進（東京聖栄大学教員・学生との連携 等）
- ・ 施設の適切な維持管理
- ・ 教員研修
- ・ 自己評価への取り組み

3 管理運営

- ・ 理事会による学園全体のガバナンスと適正運営（日常業務については常務理事会）
- ・ 『第Ⅱ期中長期計画（2015-2019）』の着実な推進
- ・ 健全な財務の維持
- ・ 幼稚園改築のための将来所要経費積立ての継続（2号基本金及び減価償却費）
- ・ 『東京聖栄大学 SD 実施方針』及び年度計画に基づくSDの推進、人材育成
- ・ 教職員PC・学生用課金プリンタ更改、脆弱性対応等、学内LAN環境の整備
- ・ 防災対策
- ・ 法令遵守（各種法令等に沿った規程整備とコンプライアンス）

以 上